

「肺癌の治療方針に関するアンケート結果を用いた解析研究」へ

ご協力をお願い

ー平成 24 年 11 月 8 日・9 日に日本肺癌学会総会でアンケート調査にご回答いただいた肺癌診療医の方へー

研究機関名 岡山大学病院

責任研究者 岡山大学病院 呼吸器・アレルギー科 教授 木浦勝行

分担研究者 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科

病態制御科学専攻腫瘍制御学講座血液腫瘍呼吸器内科学分野 教授 谷本光音

岡山大学病院 腫瘍センター 准教授 田端雅弘

岡山大学病院 血液・腫瘍内科 助教 堀田勝幸

1. 研究の意義と目的

現在、分子生物学研究の進歩に伴って肺癌の稀少疾患化が進みつつあります。しかしながら、その一つである EGFR 肺癌や ALK 肺癌の診断・治療戦略（治療順序など）には未だ混沌とする点もございます。2012 年秋の日本肺癌学会総会（上岡博会長）において EGFR 肺癌や ALK 肺癌の診断方法や治療方法に関する無記名式のアンケートにご回答いただいた情報を用い、このたび肺癌専門医が最も適切と考えている EGFR 肺癌・ALK 肺癌に対する診断・治療方針を明らかにしたいと考えております。

2. 研究の方法

1) 研究対象：

2012 年 11 月 8,9 日の日本肺癌学会総会で「肺癌診療に携わる医師を対象とした EGFR 遺伝子変異陽性あるいは ALK 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者の治療方針に関するアンケートのお願い」にご快諾の上、ご回答くださった医師の記載したアンケート。

2) 研究期間：

平成 26 年 5 月 27 日～平成 31 年 5 月 31 日

3) 研究方法：

「肺癌診療に携わる医師を対象とした EGFR 遺伝子変異陽性あるいは ALK 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者の治療方針に関するアンケートのお願い」を用いて、EGFR 肺癌や ALK 肺癌の診断方法や治療方法に関する質問の回答内容を集計し、それぞれの質問に対する回答パターンを明らかにします。

4) 調査票等：

今回は前回に記載した「肺癌診療に携わる医師を対象とした EGFR 遺伝子変異陽性あるいは ALK 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌患者の治療方針に関するアンケートのお願い」を用います。抽出項目は、EGFR 遺伝子変異あるいは ALK 遺伝子異常に関する検索の有無やそのタイミング、EGFR 肺癌あるいは ALK 肺癌に対する治療戦略に関する記述内容です。新たな調査票などは用いません。

5) 情報の保護：

連結不可能匿名化された情報ですので、個人情報保護は保護されると考えています。
個別の結果でなく全体の集計結果を公表する予定です。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 血液・腫瘍内科

氏名：堀田勝幸

電話：086-235-7227 ファックス：086-232-8226